

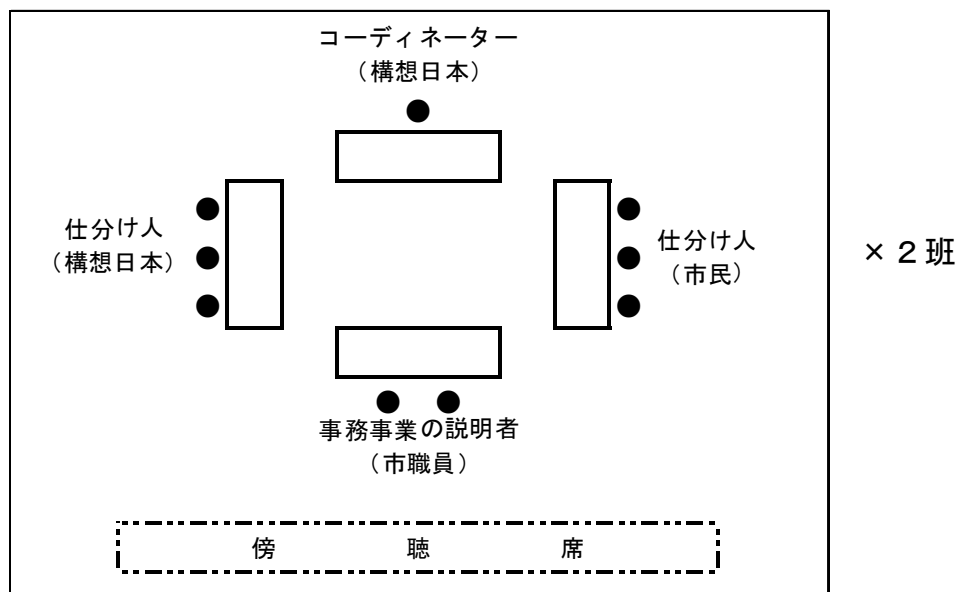
■事業仕分けの実施及び市民仕分け人の選出について

平成23年9月25日（日）、政策シンクタンク「構想日本」の支援を受けて、「事業仕分け」を実施することとしました。市が実施している事務事業について、市民を含めた外部の視点から、公開の場で、次のように個々の事務事業を仕分けていきます。

- ①不要
- ②廃止し、民間が実施
- ③国、県または広域が実施
- ④改善し、市が実施（民間活用の拡大、公民連携）
- ⑤改善し、市が実施（事業内容の見直しや規模縮小など④以外の要改善）
- ⑥現行どおり、または拡充し、市が実施

この事務事業を仕分けるいわゆる「仕分け人（事務事業の評価者）」は、構想日本が選定する行政職員や大学教授などのほか、市民の中から選出したいと考えています。

【仕分け作業のイメージ、構成】



- ・コーディネーター（構想日本）：1人×2班＝2人
- ・構想日本仕分け人：3人×2班＝6人
- ・市民仕分け人：3人×2班＝6人 → 2人～3人 行革推進委員から選出  
3人～4人 一般公募

## 【「事業仕分け」作業の流れ】※1事業当たり

流れ	内 容
1	<p>市職員が、事業の要点や事業概要説明資料の補足説明を行う（仕分け人は事前に資料に目を通しているため補足説明を中心に）。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●事業の趣旨・目的、事業内容（目標、期限等を含む）、進捗（評価方法含む）、課題など。</li> </ul>
2	<p>仕分け人から説明者（市職員）に対して、仕分けの判断材料としての質問。その後、仕分け人同士で議論（議論する中で説明者への質問もあり）。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●趣旨・目的の是非、達成手段としての妥当性、事業の効果・効率性、実施主体の適否など。</li> </ul>
3	<p>仕分け人が、各自「仕分け作業シート」に記入（上記議論中の記入、記入中も質問可）。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●「仕分け」：「不要」「民間」「国」「県・広域」「市（要改善）」「市（現行どおり）」などから選択</li> <li>●「理由」の選択（複数可）、理由や改善点の詳細なコメントを記入。（事業主体の変更－民間、国、県－については、相手の意向／能力等は、脇に置く）</li> </ul> <p>「仕分け」の結果について挙手による多数決。特に意見がある場合は、仕分け人から結果についての解説など</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●作業終了時に「チェックシート」を回収し、市が理由やコメントをまとめる。</li> </ul>

※1事業当たり30分程度で仕分ける。 1班10事業×2班＝20事業 を予定

## 【行財政改革推進委員から選出する仕分け人】

No.	委 員 名	備 考
1		
2		
3		

※9月25日（日）の本番までに、事前研修（講義＋模擬仕分け）を実施します。